



きざき

題字：寺尾 貞男 氏（笹山）

令和 5 年 10 月 日

令和 5 年度 第 5 号

変化をしなやかに受け止める

校長 島津弘次

学校職員が子どもたちに向かって「きみ」や「あなた」ではなく、「きさま」「おまえ」と呼んだらきっとたくさんのお叱りの声が寄せられることと思います。「きさま」を漢字で表すと「貴様」となります。同様に「おまえ」は「御前」となり、使われている漢字だけを見れば、どちらの呼び方も好意的に受け取れそうな表記です。ネットで調べてみると「貴様」という言葉が使われ始めたのは室町時代末であり、最初は文字通り相手への敬意を表す二人称だったようです。もともとは武家の書簡で用いられていた表記であり、「貴様」が庶民にも使われるようになると、そこに含まれる敬意はなくなり、江戸時代後期にはもう、目下の者に対して使われるまでになってしまったそうです。「御前」については、江戸時代のはじめごろまでは、目上の人に言う敬意の高い意味でしたが、文化文政のころから、同等の者、下位の者に対しても用いる二人称代名詞となった、という記述を見つけました。

言葉の意味が変わる例には、次のようなものもあります。

「情けは人のためならず」 少々前の新潟日報ふむふむ より引用

(人に情けをかけるのはお互いさまだということ)

「古くは鎌倉時代の『平治物語』から見られ、現代まで続いている。もともとは

人に情けをかければその人のためになるだけでなく、いつか自分に返ってくるから人には親切にせよ、とするものだ。ところが、この三十年ほどは、情けをかけるのはその人のためにならないという新しい解釈が多く見られる。はたして新解釈を誤用と決めつけられるだろうか。」

本来の意味と新解釈とでは、捉え方が逆ですが、おそらくこれは、現代の様々な要素を反映させつつ、新解釈を生み出し、意味を逆転させてきたのだと思います。

変化の周期が短く、その変わり方も激しいために、先を見通しにくい時代になりました。今後の予想がしにくい状況を Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）の先頭のアルファベットをとって VUCA（ブーカ）と表現することがあります。変化をどう受け止めるかで、成長の可否が決まっけきそうです。変化と共に自分が変わっていければ、それは継続した活躍ができる可能性があるということです。変化への適応は組織も個人も生き残るために必要なことであり、それが出来ない組織や人は衰退していくのでしょう。子どもたちには、変化を肯定的に受け止め、しなやかに生きる力を育ててほしいと思います。



5年生 自然体験教室



～みんなで力を合わせて過ごした2日間～

9月25・26日に、好天の中、新潟県少年自然の家で自然体験教室を行いました。



野外炊さん



みんなで協力しておいしいカレーを作ることができました。ご飯もカレーも上手にできてうれしかったです。(後藤楓)

マイムマイムをみんなで踊れてよかったです。交歓の集いでは、ゲームでいろいろな友達と関わってとても楽しかったです。(長沼柚羽)



キャンプファイヤー



カヌー

カヌーが意外とすいすい行けたのでよかったです。曲がるのもバックするのうまくできてよかったです。(小泉波瑠)

オリエンテーリングで思ったことは、とても道が長いということです。みんなで楽しく話しながら探索するのが一番思い出に残りました。(竹内心祐)



オリエンテーリング



2日間の活動の中で、自分で考えて行動すること、助け合うことの大切さを学びました。自然の中で、みんなでエンジョイできました!!

楽しかった「縦割り班活動」 ←

10月10日（火）に予定されていた「全校なかよし遠足」は、悪天候により中止になってしまいました。そこで、4時間目と昼食の時間に、雨天案として計画されていた「縦割り班活動」を行いました。 ←

4時間目は、なかよし班（縦割り班）ごとに、5、6年生が考えた遊びをしました。体育館や多目的室など広い部屋での「鬼ごっこ」や「だるまさんがころんだ」、教室での「旅人じゃんけん」や「気配切り」など、1年生から6年生までが楽しく遊べるように工夫していました。 ←



5、6年生は足が速いけれど、下学年に追いかけられるのは、うれしいみたいです。 ←



旅人じゃんけんでは勝ち抜くと、王冠をかぶることができます。 ←

お弁当もなかよし班で食べました。いつも一緒に掃除をしているメンバーですが、お弁当を食べながらの会話は、いつもとは違った楽しさがありました。 ←



みんなで食べるお弁当は、とてもおいしかったです。 ←



「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつは、1、2年生が担当しました。 ←

昼食時に児童代表の6年生が放送で感想を発表しました。みんなで協力して、楽しく進めることができたことや、下級生に優しくできたという充実感が表れていました。 ←

お世話になった職員の方とこれからお世話になる先生の紹介をします。

お世話になりました!

この度、任期満了により退職することになりました。ご縁があり、木崎小学校は15年前2年間、そしてこの度1年半合わせて3年半お世話になりました。何事にも一生懸命取り組む子どもたち。そして、元気よくグラウンドや体育館で遊んでいる子どもたちから毎日元気をもらい充実した日々を過ごさせていただきました。ありがとうございました。 宮尾 裕子



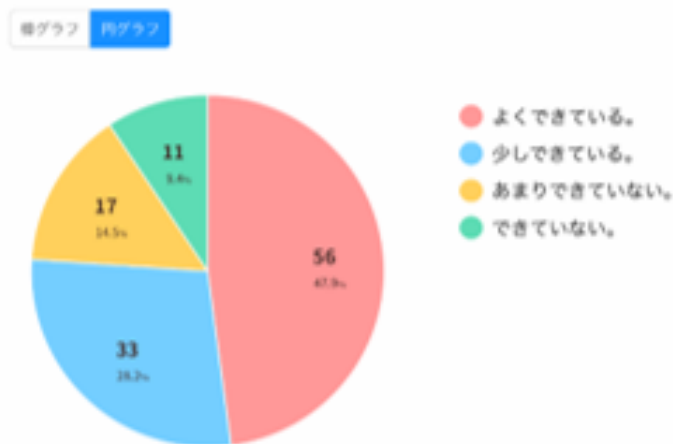
難しい算数の勉強を頑張っている6年生のお手伝いをしています。少しでも、木崎小学校の役に立つよう頑張ります。

よろしく
お願いします

これから、お世話になる 渡邊 薫 先生
です。よろしくお願いします。

木崎小学校 情報だよ!

【1】 テレビ、ゲーム、iPadなどを時間を決めて使っている。



木崎小学校では、年度はじめと前期の終わりに「情報活用能力セルフチェックシート」というアンケートを行いました。「メディアの時間を決めて使っている」という項目では、年度はじめ、前期終わりともに「よくできている」「少しできている」という回答が75%でした。「情報モラルについて頑張ったこと」という項目にも、「iPad を使いすぎに気がつけた」や「ゲームの時間についてのルール」を作ったなど、メディア時間についての多くの意見があり、子どもたちが努力していることが分かりました。

対して気になったのは、「オンライン上での悪口やいじめにはどのようなものがあるのか知っている」という項目で、約25%の児童が「あまり知らない」「知らない」と回答したことです。ネットはとても便利ですが、怖い面もたくさんあります。そしていつでも加害者にも被害者にもなる可能性があります。後期の学習では、便利さとともに危険性についても指導していき、木崎小学校の情報モラルを高めていきます。

【2】 オンライン（インターネット上）上でのいじめや悪口には、どんなことがあるの知っている。

